

令和4年度 妙高山・火打山地域 第2回入域料部会

次第

日 時：令和5年2月10日（金）  
午後3時00分から  
会 場：妙高市役所3階303会議室

1 開 会

2 部会長あいさつ

3 報告事項

令和4年度入域料収受結果について（速報）[資料1]

4 議 事

（1）令和4年度入域料事業の報告について[資料2]

（2）令和5年度入域料事業（案）について[資料3]

（3）令和5年度入域料収受方針について[資料4]

5 閉 会

## 令和4年度 入域料部会委員名簿

R5.2.8現在

	委員枠	所属	氏名	役職	備考
1	学識経験者	東京農工大学 名誉教授	土屋 俊幸	部会長	会場
2	学識経験者	新潟ライチョウ研究会 代表	長野 康之		会場
3	自然環境保全 団体	新潟県生態研究会 会長	松井 浩		会場
4	観光事業者	妙高ツーリズムマネジメント 事務局長	関原 一義		会場 代理: 矢沢正明
5	山岳ガイド	インフィールド 代表	中野 豊和		会場
6	林野庁	関東森林管理局 上越森林管理署 署長	田中 直哉		会場
7	新潟県	環境局 環境対策課 自然共生室 室長	星野 航		WEB
8	環境省	信越自然環境事務所 国立公園課 課長	岸 秀蔵		会場
9	環境省	妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	関 貴史		会場
10	妙高市	観光商工課 課長	鴨井 敏英		会場
11	妙高市	環境生活課 課長	岩澤 正明		会場

## 令和 4 年度入域料収受結果について（速報）

## 1. 収受の概要

○期間：令和 4 年 7 月 1 日から令和 4 年 10 月 31 日まで（123 日間）

○手法：笹ヶ峰登山口：土日祝日等 AM5：00～AM10：00 収受員 1 名 45 日間  
平日及び土日祝日等の上記の時間以外 協力金箱

燕温泉登山口：常時協力金箱

新赤倉登山口：常時協力金箱

事前決済：ヤママップアプリから誘導

## 2. 入域料協力金額

（単位：円）

	7 月	8 月	9 月	10 月	合計	前年度	前年度比
笹ヶ峰登山口	912,321	697,359	1,014,257	996,058	3,619,995	3,620,567	100.0%
燕温泉登山口	65,223	94,620	87,206	109,031	356,080	374,934	95.0%
新赤倉登山口	—	39,320	26,808	51,831	117,959	171,051	69.0%
事前決済	6,348	3,616	9,377	11,435	30,776	56,647	54.3%
合計	983,892	834,915	1,137,648	1,168,355	4,124,810	4,223,199	97.7%

※新赤倉登山口について

赤倉観光ホテルスカイケーブル稼働と合わせて 8 月 7 日から設置（R3 と同様）

## 3. 入域料協力率（笹ヶ峰登山口）

（1）笹ヶ峰登山口において収受員を配置した時間帯の協力率

年度	寄付者／登山者	寄付者数	登山者数
令和 4 年度	83.0%	4,044 人	4,874 人
令和 3 年度	82.9%	4,687 人	5,656 人
令和 2 年度	80.3%	4,122 人	5,133 人

（2）笹ヶ峰登山口の寄付額を一人 500 円として想定、寄付総額を 500 円で割り返した数を寄付者数と仮定し、登山者数で割り返した協力率

年度	寄付者／登山者	寄付額	寄付者数	登山者数
令和 4 年度	65.3%	3,619,995 円	7,240 人	11,093 人
令和 3 年度	65.6%	3,620,567 円	7,241 人	11,036 人
令和 2 年度	58.7%	3,370,187 円	6,740 人	11,490 人

## 令和4年度入域料事業の報告について

## 1 予算額 3,500,000円

- ・ライチョウ保護対策事業 1,500,000円
- ・登山道整備事業 2,000,000円

## 2 決算見込み額

3,338,680円 (執行残額 161,320円は令和5年度へ繰越)

## 3 事業内容

## (1) ライチョウ保護対策事業

妙高戸隠連山国立公園火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務

決算見込額：1,343,280円

執行残額：156,720円 (R5ライチョウ保護対策事業へ繰越)

受託者：一般財団法人上越環境科学センター

箇所：ライチョウ平

内容：①センサーカメラ調査 (7月～11月)

②環境改善事業 (イネ科除去)

③ライチョウ捕食者に係る糞調査 (笹ヶ峰登山口～影火打)

④ベニヒカゲ等高山蝶の出現状況調査

⑤ライチョウ捕食者調査

## (2) 登山道整備事業

決算見込額：1,995,400円

執行残額：4,600円 (R5登山道整備事業へ繰越)

受託者：一般社団法人妙高ツーリズムマネジメント

## 【その1】

箇所：妙高山登山道 (天狗堂～光善寺池 約500m)

内容：近自然工法による登山道整備 14日間 延べ56人工

## 【その2】

箇所：クサリ場

内容：クサリの架け替え

#### 4 その他

(1) 入域料協力者への観光施設等での割引特典

- ・妙高高原ふれあい会館と連携した入浴の割引

(2) 入域料事業の広報

- ・ヤマップウェブサイトに入域料の記事を掲載することによる、ヤマップアプリの使用者への広報

(3) 山岳用携帯トイレの普及啓発

①山岳用携帯トイレの販売

- ・笹ヶ峰登山口 登山口自動販売機 82個
- ・燕温泉登山口 大日屋売店 2個

②山岳用携帯トイレの回収

- ・笹ヶ峰登山口、燕温泉登山口に携帯トイレ回収ブースの設置及び週1回程度の回収

【参考】観光商工課事業

- ・携帯トイレブースの設置：オオシラビソ林及び天狗堂

日	曜日	天気	作業場所	作業人数	作業員氏名	作業時間・内容	施行前	施行後
7月9日	土	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（2ヶ所）20m 木材40本、石50個	 	 
7月11日	月	晴れ	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（3ヶ所）25m 木材50本、石60個	 	 
7月13日	水	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（2ヶ所）20m 木材30本、石40個	 	 
7月14日	木	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（3ヶ所）30m 木材40本、石50個	 	 
8月22日	月	晴れ	妙高山	4	後藤 朝倉 加藤 高橋	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（2ヶ所）20m 木材30本、石40個	 	 

日	曜日	天気	作業場所	作業人数	作業員氏名	作業時間・内容	施行前	施行後
8月23日	火	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（2ヶ所）25m 材木40本、石40個	 	 
8月29日	月	晴れ	妙高山	4	朝倉 後藤 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（2ヶ所）15m 材木30本、石40個	 	 
8月30日	火	曇	妙高山	4	朝倉 後藤 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（2ヶ所）20m 材木35本、石40個	 	 
9月8日	木	晴れ	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（3ヶ所）25m 木材20本、石60個	 	 
9月9日	金	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（2ヶ所）20m 木材30本、石40個	 	 

日	曜日	天気	作業場所	作業人数	作業員氏名	作業時間・内容	施行前	施行後
9月10日	土	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂下（3ヶ所）30m 木材40本、石60個	 	 
9月17日	土	曇	妙高山	4	後藤 朝倉 加藤 高橋	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（2ヶ所）30m 木材30本、石30個	 	 
9月19日	月		妙高山	4	後藤 朝倉 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（3ヶ所）30m 木材30本、石50個	 	 
9月20日	火		妙高山	4	朝倉 後藤 高橋 加藤	8時30分～17時15分 近自然工法による木道整備 天狗堂上（2ヶ所）20m 木材20本、石30個	 	 

## 令和 4 年度生命地域妙高環境会議入域料会計 決算見込み

	予算	決算	差額	
負担金	132,440	120,569	-11,871	市から会議費負担金
協力金	4,400,000	4,124,810	-275,190	入域料総額
繰越金	3,442,691	3,442,691	0	R3からの繰越金
諸収入	24,869	50,415	25,546	携帯トイレ売上等
合計	8,000,000	7,738,485	-261,515	

	予算	決算	差額	
会議費	132,440	120,569	-11,871	部会謝金等
事務費	150,000	99,440	-50,560	標柱作成
広告費	200,000	106,975	-93,025	入域料チラシ作成
ライチョウ生息地回復事業	1,500,000	1,344,105	-155,895	ライチョウ生息地回復事業委託
登山道整備事業	2,000,000	1,995,400	-4,600	登山道整備事業
収受員賃金	400,000	378,780	-21,220	笹ヶ峰収受員賃金
燕管理費	60,000	55,640	-4,360	燕温泉登山口管理費
協力者記念品	900,000	857,175	-42,825	キーホルダー9,000個
山岳用携帯トイレ購入	50,000	0	-50,000	R4購入無し
事前決済手数料	10,000	3,312	-6,688	事前決済手数料
繰越事業費	2,500,000	2,771,389	271,389	R5事業費
予備費	97,560	5,700	-91,860	行動食仕入れ（自動販売機用）
合計	8,000,000	7,738,485	-261,515	

## 令和5年度入域料事業（案）について

## 1 予算見込額

2,771,389円（見込）

・ライチョウ保護対策事業執行残額 155,895円

⇒令和5年度ライチョウ保護対策事業へ全額繰越

・登山道整備事業執行残額 4,600円

⇒令和5年度登山道整備事業へ全額繰越

・令和4年度入域料会計から令和5年度事業費として繰越す額

2,610,894円

※1/2の1,305,447円ずつをライチョウ保護対策事業と登山道整備事業へ繰越す

## 2 事業内容

## (1) ライチョウ保護対策事業

予算額：1,461,342円（155,895円+1,305,447円）

箇所：火打山山頂周辺

内容

- ・頸城山塊ライチョウ個体群生態調査（ライチョウ生息数調査）
- ・ライチョウ生息地回復事業（イネ科除去事業）

## (2) 登山道整備事業

予算額：1,310,047円（4,600円+1,305,447円）

## 【その1】登山道整備

箇所：光善寺池～クサリ場（L=500m）

内容：近自然工法による登山道整備

予算：1,010,047円

## 【その2】火打山登山道靴洗い場設置

箇所：笹ヶ峰登山道入口付近

内容：笹ヶ峰登山道入口付近に靴洗い場の検討、設置

予算：200,000円

## 【その3】妙高山登山道クサリ場修繕

箇所：クサリ場周辺

内容：クサリ支点数の検討、ロープの張替え

予算：100,000円

### 3 その他

- (1) 入域料協力者への観光施設等での割引特典
- (2) 入域料事業の広報の充実
- (3) 山岳用携帯トイレの普及啓発
- (4) 事前決済の促進及び決済方法の多様化 (QRコード設置)

## 令和 5 年度入域料収受方針について

■ 妙高山燕温泉登山口において、入域料収受額の増加施策を行う。

【参考データ】 YAMAP アプリを使用して登山した人数（令和 5 年シーズン）

ルート	アプリ使用者数	登山者数	入域料実績
笹ヶ峰登山口～火打山	1,140 人	11,093 人	3,619,995 円
燕温泉～妙高山	938 人	(推計)9,127 人	356,080 円

妙高山は火打山と同等程度の登山者がいると見込まれるが、入域料の収受額が約 10 分の 1 と低調である。平成 30 年 10/1-21 に行った有人による入域料の収受活動の社会実験では、火打山 904,946 円に対し、妙高山 281,851 円と約 3 分の 1 であった。このことから、燕温泉登山口においては収受額の増加の余地があると思込まれるため、収受コストを勘案しながら増加施策を実施する。

## 【活動（案）】

○ 収受員を燕温泉にも配置する。

※ 収受コストを勘案し、笹ヶ峰と燕温泉を交互に配置することにより、収受員賃金は令和 4 年度並みとする。

○ 早朝からの登山に対応し、入域料箱にセンサーライトを設置する。

○ 登山道整備の PR と合わせて、入域料を紹介する。

○ YAMAP の協力により登山者の上り始めの時間など動態を把握する。